

令和5年

鳥取県人口移動調査結果
【令和5年1月～令和5年12月】

令和6年3月13日公表

鳥取県総務部統計課

目 次

用語の説明	1
利用上の注意	2
調査結果の概要	
I 鳥取県の人口動態	
1 概況	3
2 自然動態	
(1) 自然動態の推移	3
(2) 月別自然動態	4
3 社会動態	
(1) 社会動態の推移	4
(2) 月别社会動態	5
(3) 都道府県別（外国を含む）、男女别社会動態	5
(4) ブロック別の県外転入・転出	7
(5) 都道府県別（外国を含む）転入・転出超過数	7
(6) 年齢5歳階級別、男女别社会動態	8
II 市町村别人口動態	
1 人口増減	9
2 自然動態	
(1) 市町村别自然動態	10
(2) 月别自然動態	11
(3) 男女别自然動態	11
3 社会動態	
(1) 市町村别社会動態	12
(2) 県内移動	13
(3) 県外転入・県外転出	14
(4) 4市における年齢5歳階級別、男女别県外転入転出	15
<参考>外国人の人口動態	19
参考資料	
1 鳥取県の人口動態の推移（S30～R5）	20
2 年齢10歳階級別県外転入者数の推移（H15～R5）	21
3 年齢10歳階級別県外転出者数の推移（H15～R5）	22
4 県外転出入者数の推移（令和5年移動者総数上位6都道府県）	23

用語の説明

1 動態

- (1) 人口動態…自然動態と社会動態を合わせた人口の動きをいう。
- (2) 自然動態…一定期間における出生及び死亡に伴う人口の動きをいう。
- (3) 社会動態…一定期間における転入及び転出に伴う人口の動きをいう。

2 移動

- (1) 移動者総数…県内移動者数(県内市町村間の転出入)と県外移動者数(県内外の転出入)を合計した数をいう。
- (2) 実移動者総数…県内市町村間の転入者数と県外移動者数を合計した数をいう。
- (3) 県内転入者数…県内の市町村から県内の他の市町村へ転入した者の数をいう。
- (4) 県内転出者数…県内の市町村から県内の他の市町村へ転出した者の数をいう。この調査の県内移動については、転入だけを調査している。このため転出については、従前の住所地(市町村)により、算出した数である。
- (5) 県外転入者数…県外(外国を含む)の市町村から県内の市町村へ転入した者の数をいう。
- (6) 県外転出者数…県内の市町村から県外(外国を含む)の市町村へ転出した者の数をいう。
- (7) 転入・転出超過数…転入者数から転出者数を差し引いた数で、プラスの場合を転入超過、マイナスの場合を転出超過という。

3 出生率及び死亡率

- (1) 出生率…人口に対する出生数の千分率(パーミル【‰】)をいう。
- (2) 死亡率…人口に対する死亡数の千分率(パーミル【‰】)をいう。

4 移動者の年齢

令和5年10月1日現在の満年齢による。

5 自然増減数

出生数から死亡数を差し引いた数をいう。この場合、プラスは自然増加といい、マイナスは自然減少という。

6 自然増減率

人口に対する自然増減数の千分率(パーミル【‰】)をいう。

7 社会増減数

転入者数から転出者数を差し引いた数をいう。この場合、プラスは社会増加といい、マイナスは社会減少という。

8 社会増減率

人口に対する社会増減数の千分率(パーミル【‰】)をいう。

9 ブロック別区分

北海道…北海道

東北…青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東…茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部…新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿…滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国…島根県、岡山県、広島県、山口県

四国…徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州…福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

10 地域別区分

東 部…鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町

中 部…倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町

西 部…米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町

11 市郡別

市 部…鳥取市、米子市、倉吉市、境港市

郡 部…岩美郡、八頭郡、東伯郡、西伯郡、日野郡

利 用 上 の 注 意

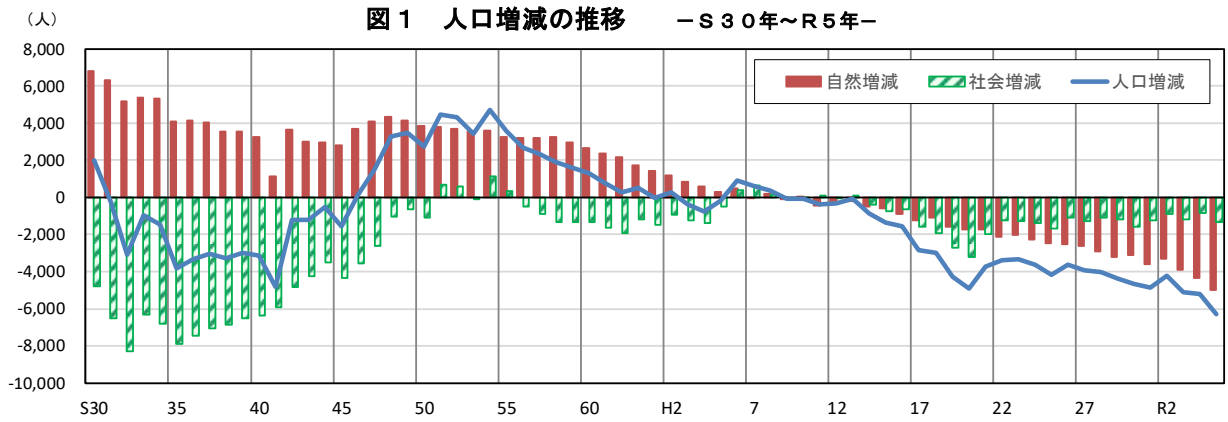
- 1 鳥取県人口移動調査は、昭和43年から調査を開始し、「住民基本台帳法」の規定により届出された者を対象に、出生数及び死亡数、転入者数及び転出者数を、それぞれ住民票の異動日を基準として各月ごとに調査したものである。
- 2 人口及び世帯の移動数は、令和5年1月から令和5年12月までの年間数値であり、市町村表記は令和5年12月現在のものにて記載している。

調査結果の概要

I 鳥取県の人口動態

1 概況

令和5年（令和5年1月～令和5年12月）の1年間の人口動態をみると、自然増減は4,980人の減少、社会増減は1,313人の減少、合計6,293人の減少となり、人口増減の減少幅は前年に比べ1,105人拡大した。（図1、統計表第1表）



2 自然動態

(1) 自然動態の推移

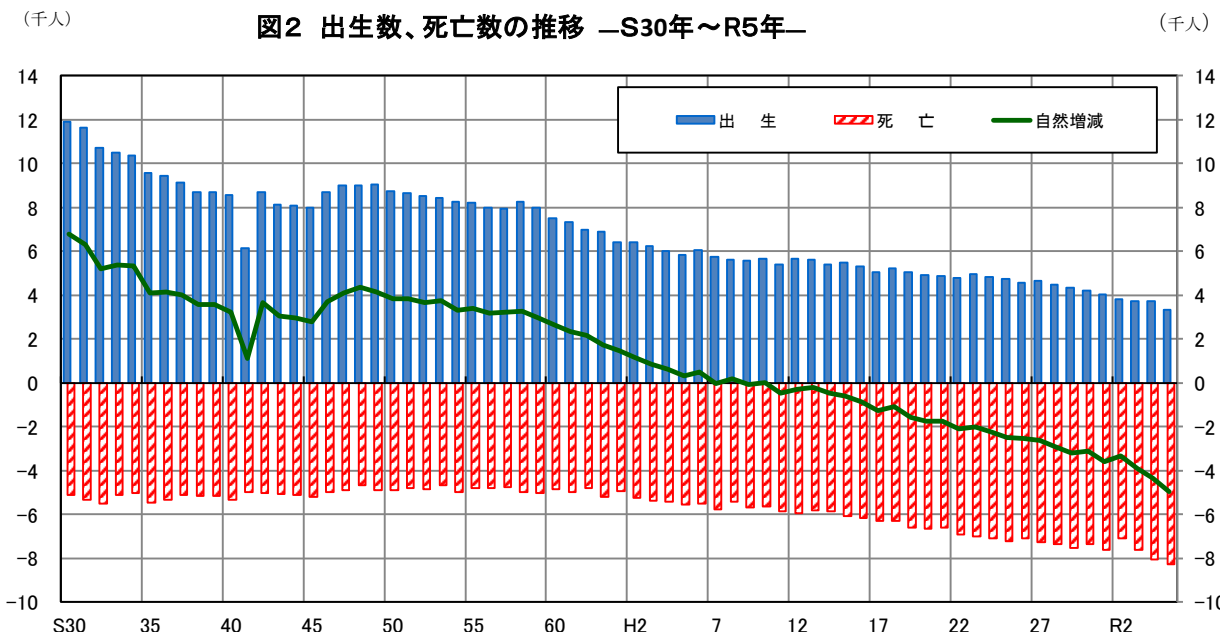
出生数は3,316人となり、昭和30年以降で過去最少を更新した。
 死亡数は8,296人となり、2年連続8,000人を超えて過去最多を更新した。
 自然増減は4,980人減少し、平成11年以降25年連続の減少となった。

出生数は、令和4年は3,729人で前年に比べ19人増加したが、令和5年は再び減少に転じ3,316人で前年に比べ413人減少し、過去最少を更新した。

出生数は昭和30年の11,901人から概ね減少傾向であり、昭和35年に1万人を割り込み9,000人台となり、昭和62年に6,000人台、平成5年に5,000人台、平成20年に4,000人台、令和2年からは3,000人台となり減少が続いている。

死亡数は、平成2年ごろまでは5,000人前後で推移していたが、それ以降は増加傾向となり、平成15年には6,000人台、平成23年に7,000人台、令和4年に8,000人台となり、令和5年は8,296人で前年に比べ232人増加し、2年連続8,000人を超えて過去最多を更新した。

自然増減は4,980人の減少となり、減少幅は前年に比べ645人拡大し、平成11年以降25年連続の減少となった。（図2、統計表第1表）



(2) 月別自然動態

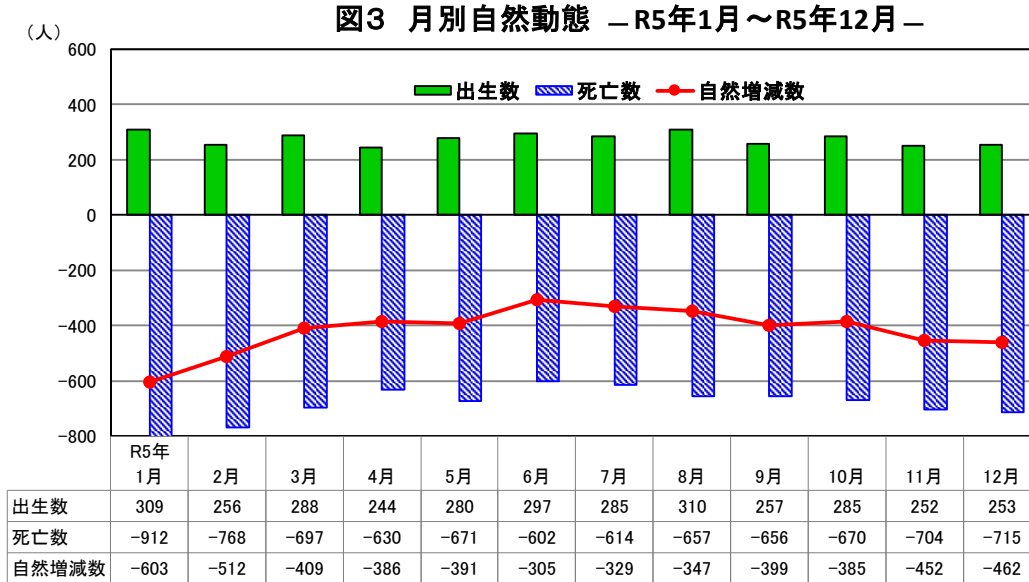
自然増減はすべての月で減少となり、1月の減少数が最も多い

月別にみると、出生数は8月の310人（出生総数に占める割合9.3%）が最も多く、次いで1月の309人（同9.3%）、6月の297人（同9.0%）であった。

死亡数は1月の912人（死亡総数に占める割合11.0%）が最も多く、次いで2月の768人（同9.3%）、12月の715人（同8.6%）であった。

自然増減数はすべての月で減少となり、減少数は1月の603人が最も多かった。

（図3、統計表第2表）



3 社会動態

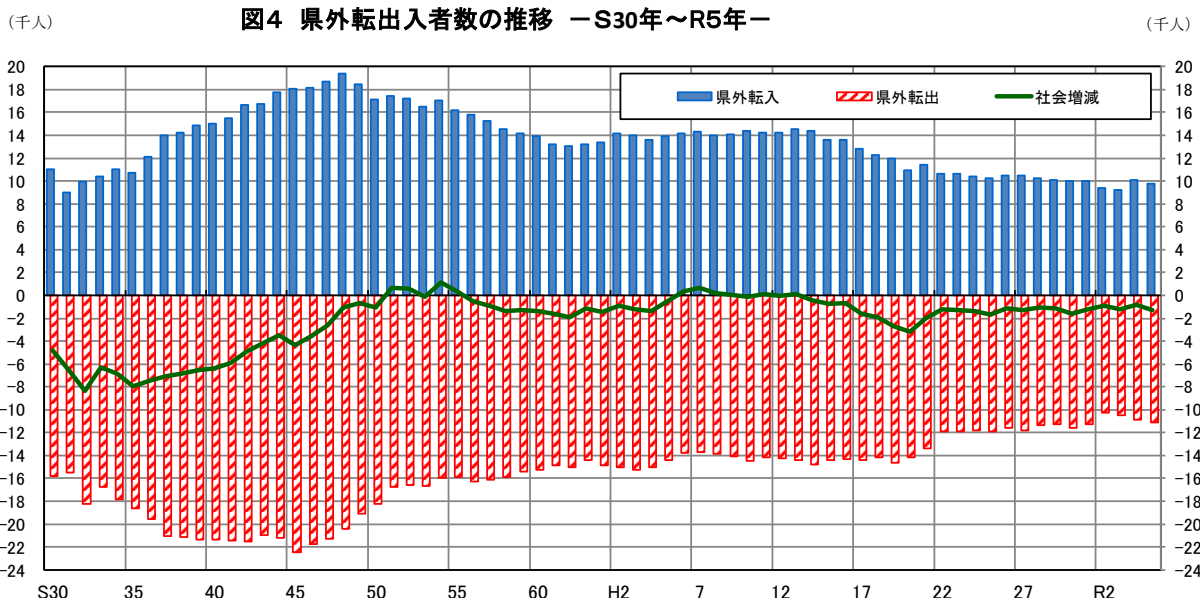
(1) 社会動態の推移

社会増減は、1,313人減少し、平成14年以降22年連続の減少となった。

令和5年（令和5年1月～令和5年12月）の県外転入者は9,803人、県外転出者は11,116人で社会増減は1,313人減少した。県内の市町村間を移動した者（県内移動者）は5,637人で実移動者総数は26,556人であった。

前年と比べると、県外転入者が255人減少、県外転出者が205人増加し、社会増減の減少数が460人拡大した。また、県内移動者が98人増加し、実移動者総数が48人増加した。

社会動態の推移をみると、県外転入者は昭和48年の19,395人、県外転出者は昭和45年の22,438人をピークに転入・転出とも減少傾向となり、社会増減数は平成14年以降22年連続で減少した。（図4、統計表第1表、統計表第4表）



注) 各年の数値は1月～12月の集計による。

(2) 月別社会動態

年間県外移動者数は、3月及び4月の2か月間で全体の39.5%を占める

月別にみると、県外転入者は3月の1,904人（県外転入者総数に占める割合19.4%）が最も多く、次いで4月の1,684人（同17.2%）、10月の751人（同7.7%）であった。

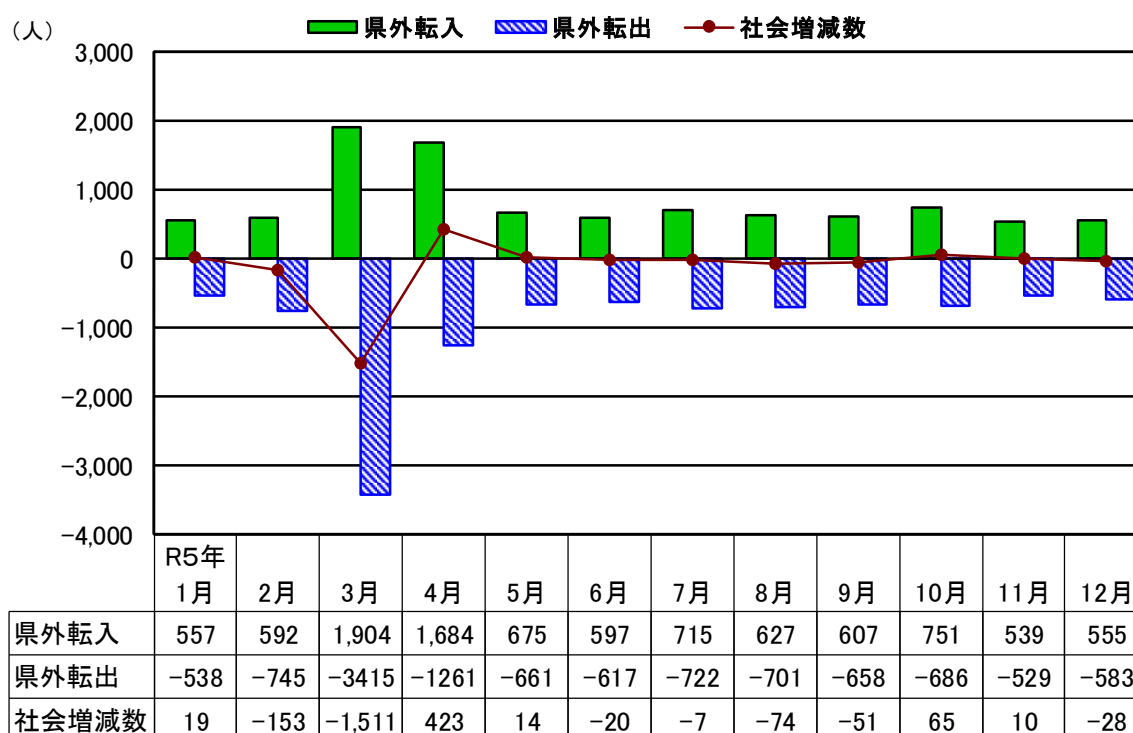
県外転出者は3月の3,415人（県外転出者総数に占める割合30.7%）が最も多く、次いで4月の1,261人（同11.3%）、7月の745人（同6.7%）であった。

県外転出入により、4月が最も増加（423人）し、3月が最も減少（1,511人）した。

年間県外移動者数をみると、3月及び4月の2か月間で8,264人となり、全体（20,919人）の39.5%を占めている。

（図5、統計表第3表）

図5 月別県外転出入者数 — R5年1月～R5年12月 —



(3) 都道府県別（外国を含む）、男女別社会動態

県外転入者数は外国の1,293人、県外転出者数は大阪府の1,283人が最も多い

都道府県別（外国を含む）にみると、県外転入者は外国の1,293人（男性550人、女性743人）が最も多く、次いで島根県の1,205人（男性644人、女性561人）、大阪府の907人（男性464人、女性443人）であった。

県外転出者は、大阪府の1,283人（男性604人、女性679人）が最も多く、次いで島根県の1,256人（男性670人、女性586人）、東京都の1,065人（男性540人、女性525人）であった。

また、男女別にみると、男性の県外転入者は島根県の644人が最も多く、次いで外国の550人、大阪府の464人であり、県外転出者は、島根県の670人が最も多く、次いで大阪府の604人、東京都の540人であった。

女性の県外転入者は外国の743人が最も多く、次いで島根県の561人、大阪府の443人であり、県外転出者は、大阪府の679人が最も多く、次いで島根県の586人、東京都の525人であった。

（図6-1、図6-2、図6-3、統計表第9表）

図6-1 従前の住所地及び転出地の都道府県別(外国を含む)転入・転出者数上位15都道府県(総数)

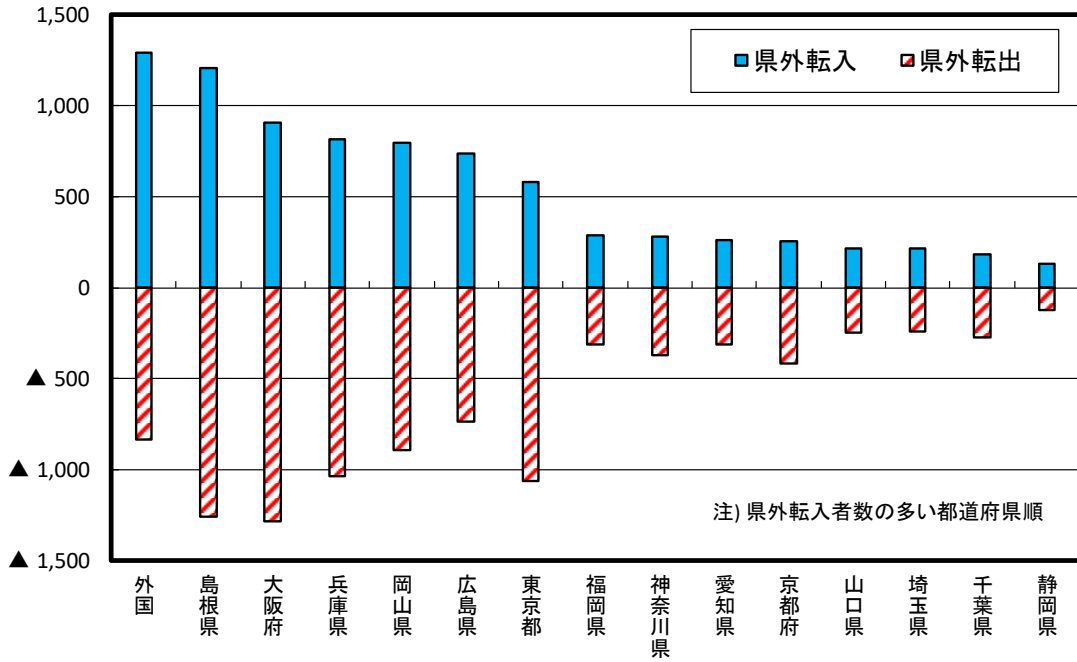


図6-2 従前の住所地及び転出地の都道府県別(外国を含む)転入・転出者数上位10都道府県(男)

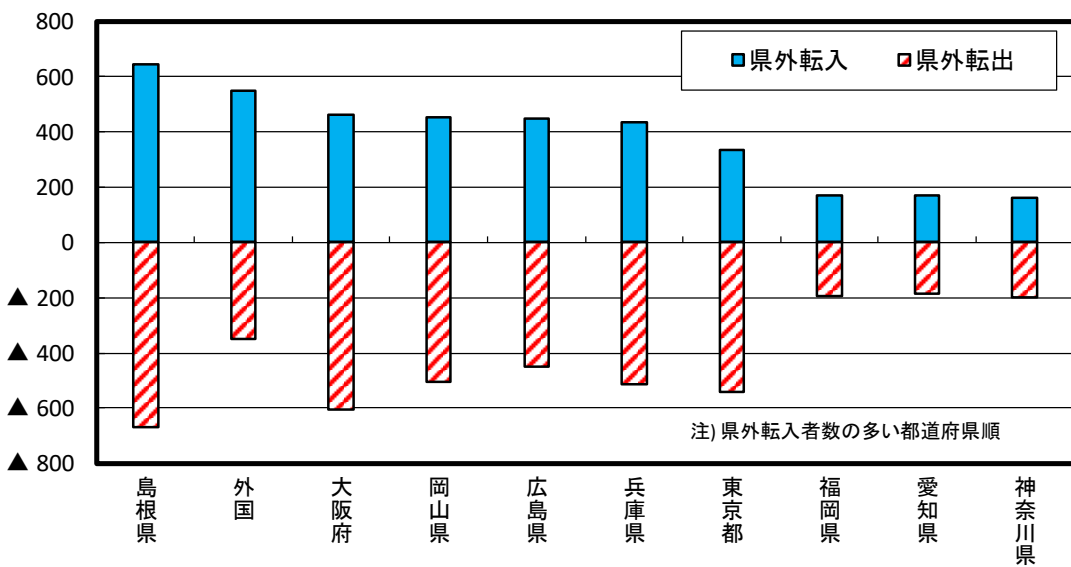
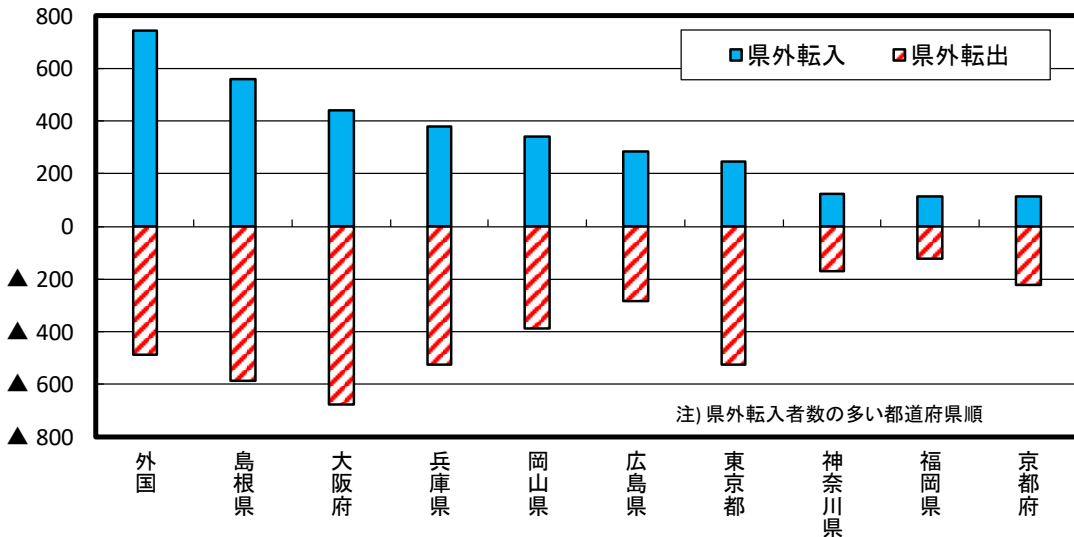


図6-3 従前の住所地及び転出地の都道府県(外国を含む)県別転入・転出者数上位10都道府県(女)



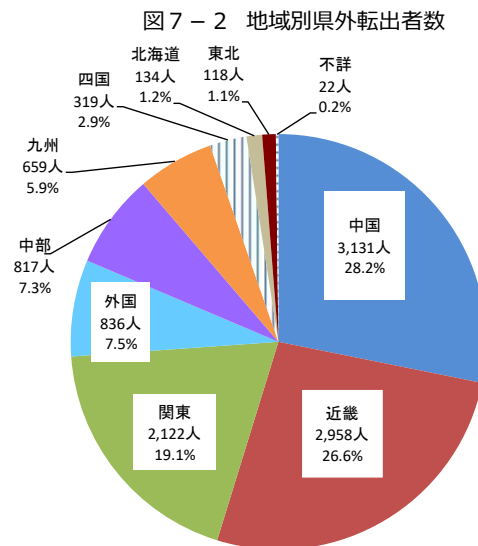
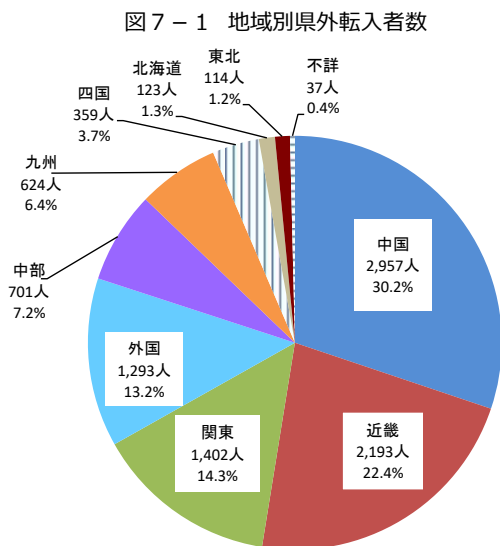
(4) ブロック別の県外転入・転出

ブロック別の県外転入・転出者数とも中国ブロックが最多で、次いで近畿ブロック

ブロック別にみると、県外転入者は中国ブロックの2,957人（男性1,690人、女性1,267人）が最も多く、次いで近畿ブロックの2,193人（男性1,168人、女性1,025人）、関東ブロック1,402人（男性805人、女性597人）であった。

県外転出者は中国ブロックの3,131人（男性1,776人、女性1,355人）が最も多く、次いで近畿ブロックの2,958人（男性1,429人、女性1,529人）、関東ブロックの2,122人（男性1,134人、女性988人）であった。

(図7-1、図7-2、統計表第9表)



注) 全国地域区分別の構成都道府県は、以下のとおり。

- 北海道: 北海道
- 東北: 青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
- 関東: 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
- 中部: 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重
- 近畿: 滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
- 中国: 島根、岡山、広島、山口
- 四国: 徳島、香川、愛媛、高知
- 九州: 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

(5) 都道府県別（外国を含む）転入・転出超過数

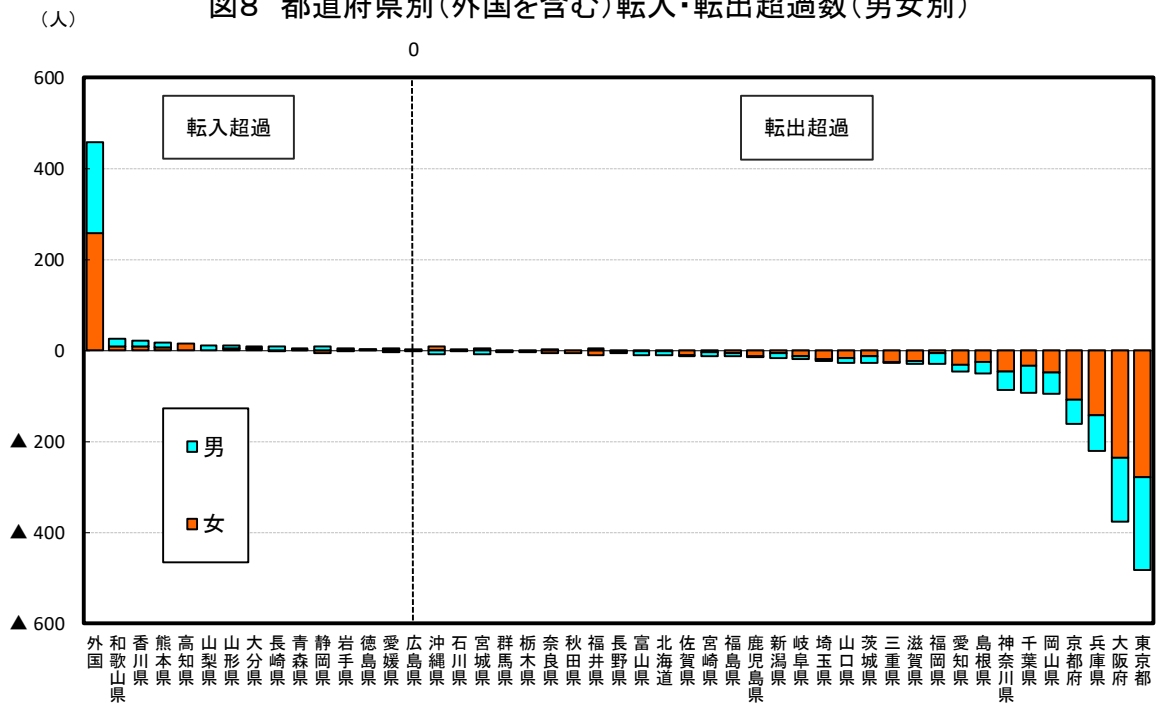
転入超過数は外国の457人、転出超過数は東京都の483人が最も多い

転入超過数は、外国の457人（男性200人、女性257人）が最も多く、次いで和歌山県の27人（男性17人、女性10人）、香川県の22人（男性13人、女性9人）であった。

転出超過数は、東京都の483人（男性206人、女性277人）が最も多く、次いで大阪府の376人（男性140人、女性236人）、兵庫県の220人（男性78人、女性142人）であった。

(図8、統計表第9表)

図8 都道府県別(外国を含む)転入・転出超過数(男女別)



(6) 年齢5歳階級別、男女別社会動態

60～64歳が最も増加し、20～24歳が最も減少

年齢5歳階級別にみると、県外転入者は男女とも20～24歳が最も多く（男性1,184人：男性の県外転入者総数に占める割合が21.9%、女性997人：女性の県外転入者総数に占める割合が22.3%）、次いで男女とも25～29歳（男性878人：同16.2%、女性775人：同17.7%）であった。

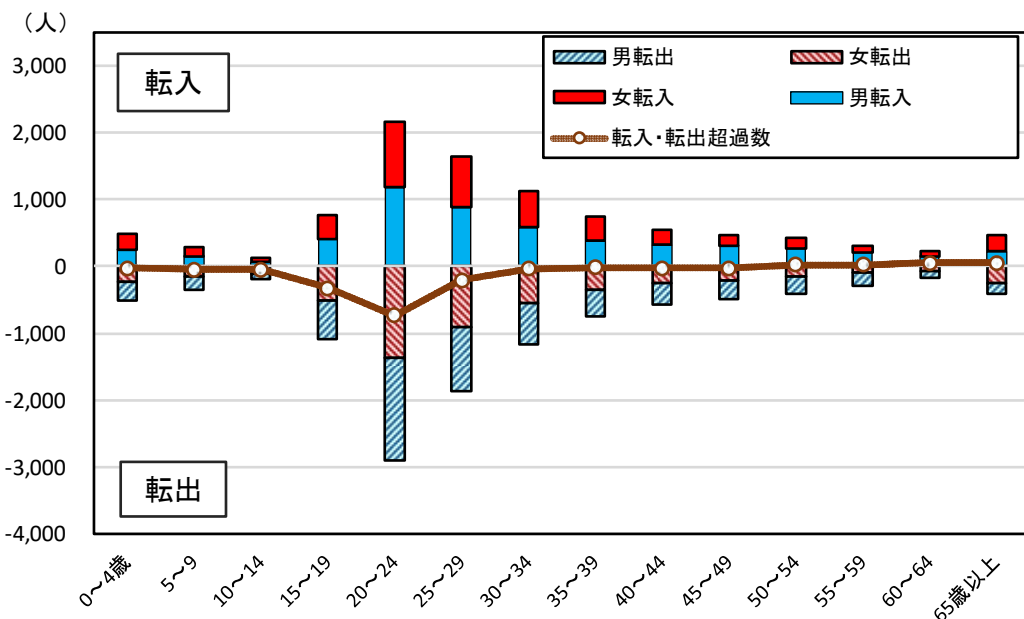
県外転出者は男女とも20～24歳が最も多く（男性1,527人：同25.8%、女性1,370人：同26.3%）、次いで男女とも25～29歳（男性949人：同16.1%、女性910人：同17.5%）であった。

県外転入転出により、60～64歳が最も増加（54人：男性48人、女性6人）し、20～24歳が最も減少（736人：男性343人、女性393人）した。

年間県外移動者数をみると、20～34歳で10,859人となり、全体(20,919人)の51.9%を占めている。

(図9、統計表第4表、統計表第10表)

図9 年齢5歳階級別男女別県外転出入者数



II 市町村別人口動態

1 人口増減

人口増減は日吉津村を除くすべての市町で減少

令和5年（令和5年1月～令和5年12月）の1年間の市町村別の人口増減をみると、増加したのは日吉津村の21人（自然減少15人、社会増加36人）で、他の18市町は減少し、最も減少したのは鳥取市の2,017人（自然減少1,394人、社会減少623人）、次いで米子市の983人（自然減少855人、社会減少128人）、倉吉市の753人（自然減少498人、社会減少255人）、八頭町の365人（自然減少223人、社会減少142人）であった。

また、増減率を見ると、増加したのは日吉津村の0.59%で、他の18市町は減少し、最も減少したのは日野町の4.20%、次いで江府町の3.88%、日南町の3.64%、若桜町の3.34%であった。

（表1、統計表第6表、統計表第7表）

表1 市町村別人口増減

（単位：人、%）

	自然増減			社会増減			人口増減数	人口増減率
	出生数	死亡数	増減数	転入者数	転出者数	増減数		
県計	3,316	8,296	-4,980	15,440	16,753	-1,313	-6,293	-1.16
鳥取市	1,148	2,542	-1,394	4,453	5,076	-623	-2,017	-1.09
米子市	1,073	1,928	-855	4,825	4,953	-128	-983	-0.67
倉吉市	271	769	-498	1,267	1,522	-255	-753	-1.67
境港市	172	518	-346	1,264	1,198	66	-280	-0.87
岩美町	61	178	-117	314	300	14	-103	-0.98
若桜町	11	67	-56	49	81	-32	-88	-3.34
智頭町	20	151	-131	165	198	-33	-164	-2.70
八頭町	58	281	-223	281	423	-142	-365	-2.39
三朝町	12	129	-117	142	149	-7	-124	-2.16
湯梨浜町	112	272	-160	471	495	-24	-184	-1.16
琴浦町	82	320	-238	504	524	-20	-258	-1.64
北栄町	77	201	-124	341	398	-57	-181	-1.30
日吉津村	24	39	-15	176	140	36	21	0.59
大山町	68	315	-247	393	417	-24	-271	-1.84
南部町	42	149	-107	324	280	44	-63	-0.63
伯耆町	57	167	-110	268	282	-14	-124	-1.20
日南町	15	109	-94	82	131	-49	-143	-3.64
日野町	7	85	-78	67	105	-38	-116	-4.20
江府町	6	76	-70	54	81	-27	-97	-3.88

2 自然動態

(1) 市町村別自然動態

自然増減は19市町村すべてで減少

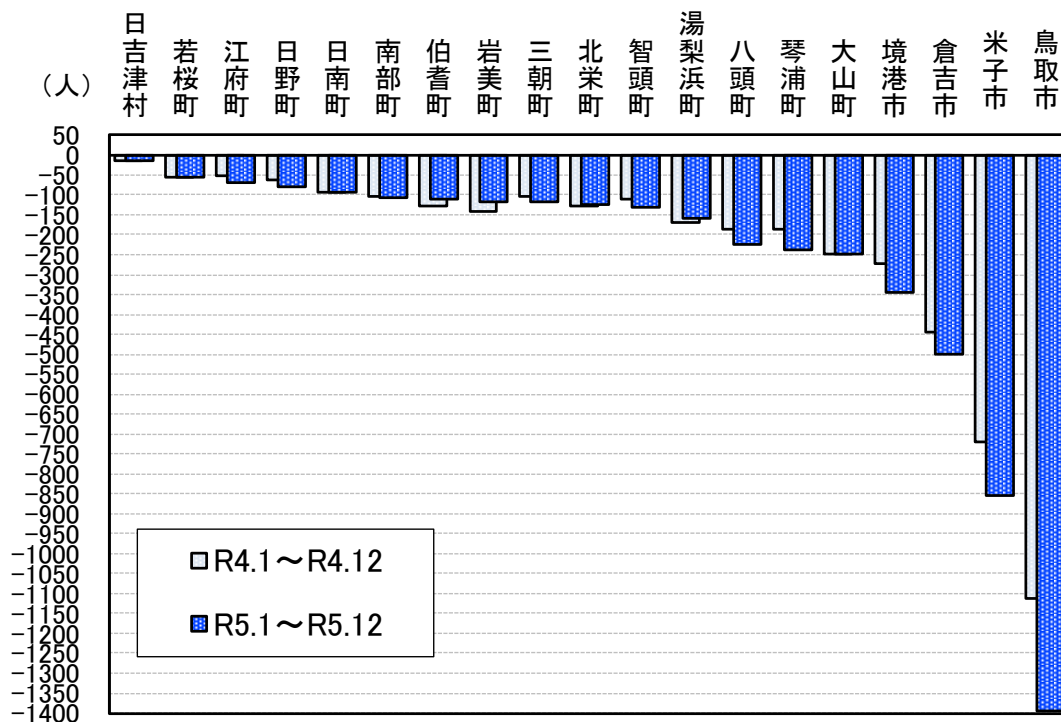
自然増減を市町村別にみると、19市町村すべてで減少した。

最も多く減少したのは鳥取市の1,394人（出生数1,148人、死亡数2,542人）、次いで米子市の855人（出生数1,073人、死亡数1,928人）であった。

自然増減率（対1,000人比）をみると、すべての市町村で減少し、最も減少したのは日野町の28.22%、次いで江府町の27.97%、日南町の23.91%であった。

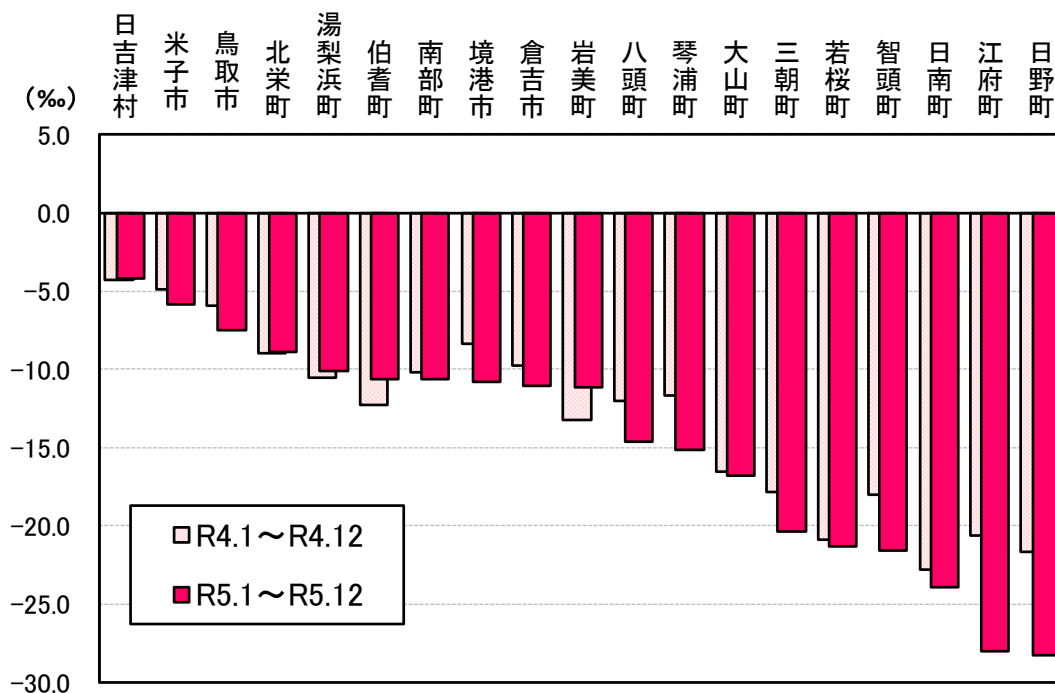
（図10-1、図10-2、統計表第6表）

図10-1 市町村別自然増減数



注) 各年の数値は1月~12月の集計による

図10-2 市町村別自然増減率



注) 各年の数値は1月~12月の集計による

(2) 月別自然動態

出生数は1月の鳥取市の124人、死亡数は1月の鳥取市の308人が最も多い。

月別にみると、出生数は1月の鳥取市の124人（総出生数に占める割合3.7%）が最も多く、次いで6月の鳥取市の113人（同3.4%）、7月の鳥取市の109人（同3.3%）であった。

死亡数は1月の鳥取市の308人（総死亡数に占める割合3.7%）が最も多く、次いで2月の鳥取市の239人（同2.9%）、11月の鳥取市の227人（同2.7%）であった。

(表2)

(3) 男女別自然動態

男女の出生数・死亡数とも鳥取市が最も多かった。

市町村別の男女別をみると、男性の出生数は鳥取市の601人が最も多く、次いで米子市の579人、倉吉市の124人、境港市の88人であった。死亡数は鳥取市の1,226人が最も多く、次いで米子市の949人、倉吉市の358人、境港市の259人であった。

女性の出生数は鳥取市の547人が最も多く、次いで米子市の494人、倉吉市の147人、境港市の84人であった。死亡数は鳥取市の1,316人が最も多く、次いで米子市の979人、倉吉市の411人、境港市の259人であった。

また、最も少なかった出生数は、男性では江府町の4人、女性では日野町及び江府町の2人、死亡数は、男女とも日吉津村で男性18人、女性21人であった。

(表2、統計表第6表)

表2 月別男女別自然動態 -R5年1月~R5年12月-

(単位:人)

		計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
県計	出生数	男	1,710	144	138	148	131	145	144	156	150	133	156	128	137
		女	1,606	165	118	140	113	135	153	129	160	124	129	124	116
		総数	3,316	309	256	288	244	280	297	285	310	257	285	252	253
	死亡数	男	4,008	454	369	344	290	332	302	285	334	313	290	344	351
		女	4,288	458	399	353	340	339	300	329	323	343	380	360	364
		総数	8,296	912	768	697	630	671	602	614	657	656	670	704	715
鳥取市	出生数	男	601	67	43	57	45	41	60	59	44	49	44	45	47
		女	547	57	48	51	33	50	53	50	50	52	34	36	33
		総数	1,148	124	91	108	78	91	113	109	94	101	78	81	80
	死亡数	男	1,226	157	113	104	93	106	104	82	101	86	73	106	101
		女	1,316	151	126	117	116	91	90	94	95	110	107	121	98
		総数	2,542	308	239	221	209	197	194	176	196	196	180	227	199
米子市	出生数	男	579	46	58	39	45	53	51	46	47	48	61	37	48
		女	494	52	32	39	36	41	40	41	55	28	45	44	41
		総数	1,073	98	90	78	81	94	91	87	102	76	106	81	89
	死亡数	男	949	121	83	75	75	81	68	60	82	77	76	78	73
		女	979	105	85	69	80	83	63	77	79	77	94	77	90
		総数	1,928	226	168	144	155	164	131	137	161	154	170	155	163
倉吉市	出生数	男	124	6	10	12	6	14	6	13	15	6	15	12	9
		女	147	15	11	16	15	11	17	8	15	12	5	12	10
		総数	271	21	21	28	21	25	23	21	30	18	20	24	19
	死亡数	男	358	35	41	26	26	25	25	36	22	27	31	34	30
		女	411	29	31	23	34	40	33	33	30	36	48	37	37
		総数	769	64	72	49	60	65	58	69	52	63	79	71	67
境港市	出生数	男	88	3	9	10	2	7	7	5	9	10	5	10	11
		女	84	8	7	5	4	4	7	7	7	7	12	9	7
		総数	172	11	16	15	6	11	14	12	16	17	17	19	18
	死亡数	男	259	17	24	30	13	22	15	22	22	19	25	29	21
		女	259	24	22	17	15	29	23	19	23	21	22	20	24
		総数	518	41	46	47	28	51	38	41	45	40	47	49	45

3 社会動態

(1) 市町村別社会動態

社会増減は境港市66人、南部町44人、日吉津村36人、岩美町14人の4市町村で増加し、残る15市町で減少

社会増減を市町村別にみると、境港市66人、南部町44人、日吉津村36人、岩美町14人の4市町村で増加し、残る15市町で減少した。

増加したのは境港市の66人（男性27人、女性39人）が最も増加し、次いで南部町の44人（男性19人、女性25人）であった。減少したのは鳥取市の623人（男性216人、女性407人）が最も減少し、次いで倉吉市の255人（男性119人、女性136人）であった。

社会増減率（対1,000人比）をみると、最も増加したのは日吉津村の10.13%、次いで南部町の4.38%で、最も減少したのは日野町の13.75%、次いで日南町の12.47%であった。

（図11-1、図11-2、表3、統計表第7表、統計表第10表）

図11-1 市町村別社会増減数

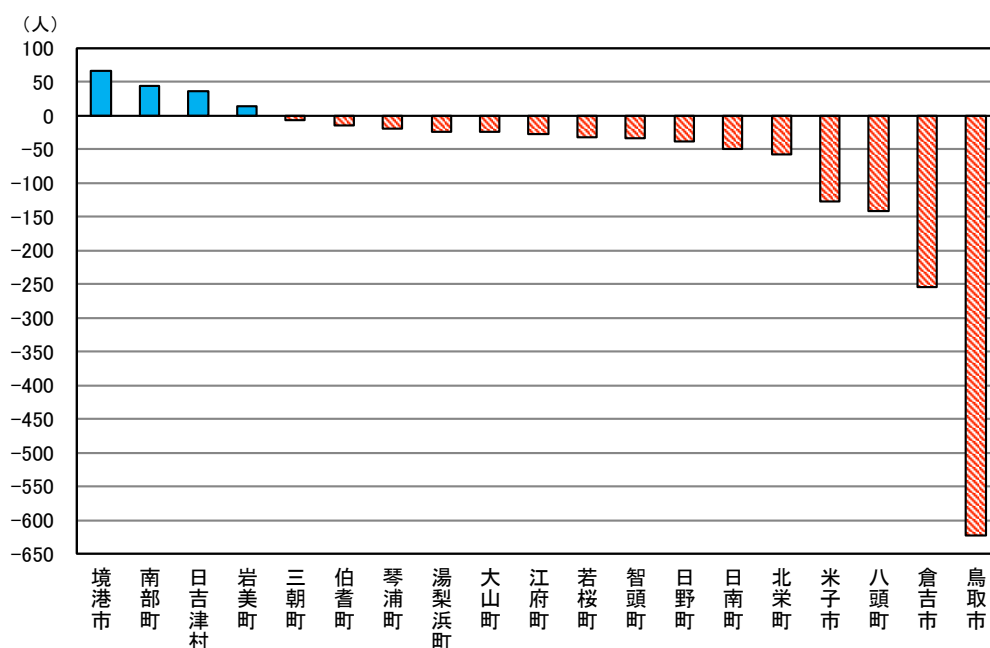


図11-2 市町村別社会増減率

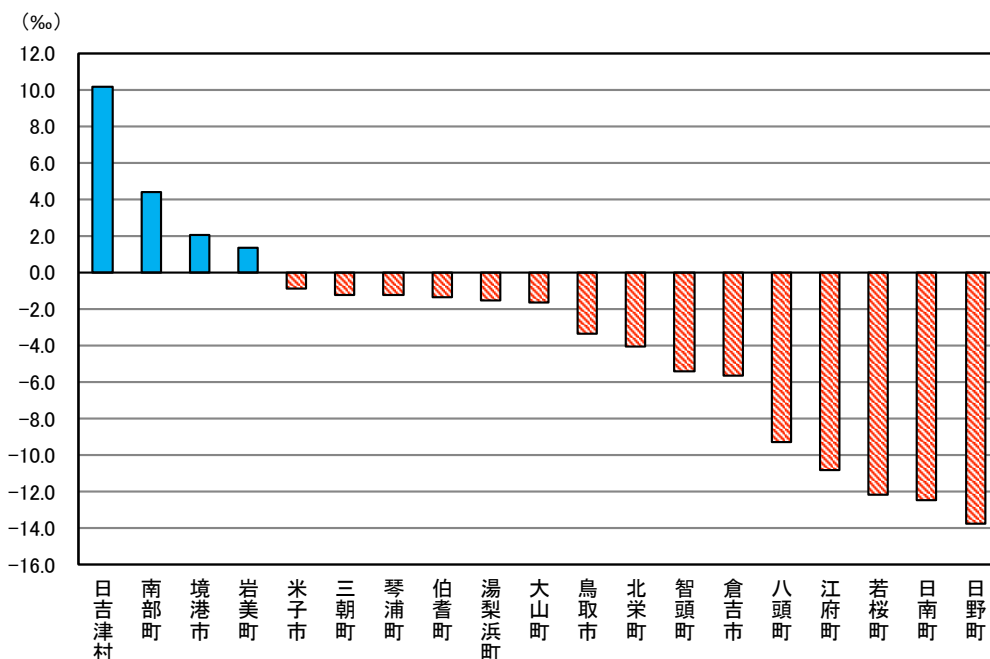


表3 市町村別社会動態

(単位：人)

	県外			県内			社会増減数
	転入者数	転出者数	転入超過数	転入者数	転出者数	転入超過数	
県計	9,803	11,116	-1,313	5,637	5,637	0	-1,313
東部地区	3,667	4,370	-703	1,595	1,708	-113	-816
中部地区	1,320	1,615	-295	1,405	1,473	-68	-363
西部地区	4,816	5,131	-315	2,637	2,456	181	-134
鳥取市	3,267	3,909	-642	1,186	1,167	19	-623
米子市	3,283	3,643	-360	1,542	1,310	232	-128
倉吉市	627	849	-222	640	673	-33	-255
境港市	910	825	85	354	373	-19	66
岩美町	145	140	5	169	160	9	14
若桜町	25	25	0	24	56	-32	-32
智頭町	116	116	0	49	82	-33	-33
八頭町	114	180	-66	167	243	-76	-142
三朝町	80	87	-7	62	62	0	-7
湯梨浜町	135	222	-87	336	273	63	-24
琴浦町	329	269	60	175	255	-80	-20
北栄町	149	188	-39	192	210	-18	-57
日吉津村	57	74	-17	119	66	53	36
大山町	204	207	-3	189	210	-21	-24
南部町	149	127	22	175	153	22	44
伯耆町	114	118	-4	154	164	-10	-14
日南町	43	57	-14	39	74	-35	-49
日野町	39	39	0	28	66	-38	-38
江府町	17	41	-24	37	40	-3	-27

注1) 転入超過数とは、転入者数から転出者数を差し引いた数。転入超過数がマイナス(－)の場合は、転出超過を示す。

注2) 地区別の県内転入者数及び県内転出者数の数値については、地区内市町村間の移動者を含む。

(2) 県内移動

県内移動で最も多いのは、鳥取市から米子市への427人

県内移動をみると、鳥取市から米子市への427人(男性243人、女性184人)が最も多く、次いで米子市から鳥取市への344人(男性189人、女性155人)であった。

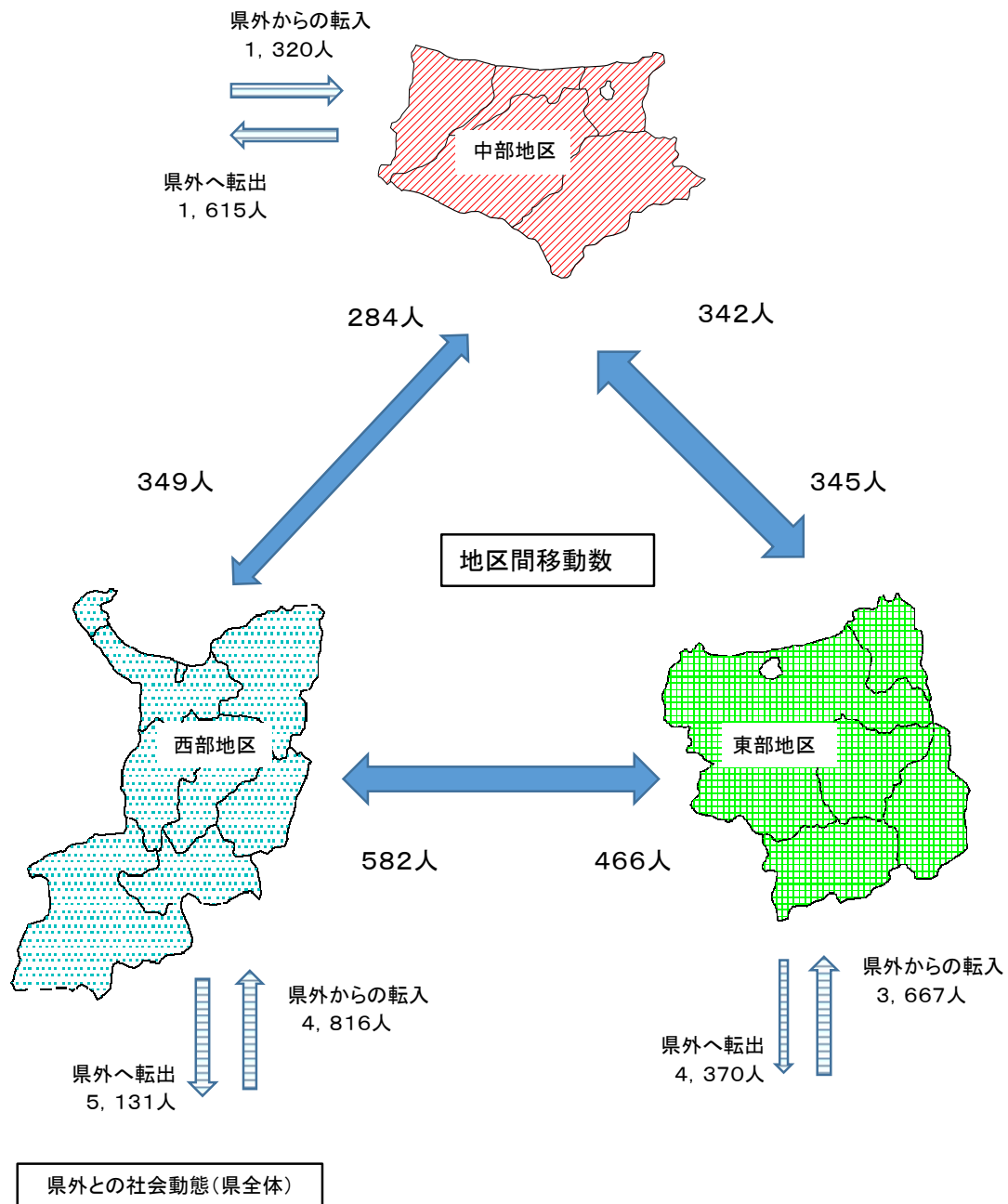
県内移動での転入超過は、米子市の232人(男性137人、女性95人)が最も多く、次いで湯梨浜町の63人(男性29人、女性34人)であった。

転出超過は、琴浦町の80人(男性19人、女性61人)が最も多く、次いで八頭町の76人(男性28人、女性48人)であった。

また、県内移動を地域区分別にみると、東部から西部への582人(男性328人、女性254人)が最も多く、次いで西部から東部への466人(男性263人、女性203人)、中部から西部への349人(男性169人、女性180人)であった。

(図12、統計表第8表)

図12 地区別社会動態(R5年1月～R5年12月)



注) 地区間移動数は、地区内市町村間の移動者を含まない。

(3) 県外転入・県外転出

県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への665人
 県外転出者で最も多いのは、米子市から島根県への590人

県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への665人(男性346人、女性319人)、次いで外国から鳥取市への517人(男性240人、女性277人)であった。

また、県外転出者で最も多いのは、米子市から島根県への590人(男性312人、女性278人)、次いで鳥取市から大阪府への503人(男性238人、女性265人)であった。

転入・転出超過数をみると、転入超過は、境港市の85人(男性5人、女性80人)が最も多く、次いで琴浦町60人(男性21人、女性39人)であった。

転出超過は、鳥取市の 642 人（男性 196 人、女性 446 人）が最も多く、次いで米子市の 360 人（男性 135 人、女性 225 人）であった。

また、県外転入・県外転出を地域区分別にみると、県外転入者については東部では外国から 598 人（男性 270 人、女性 328 人）が最も多く、次いで兵庫県から 446 人（男性 229 人、女性 217 人）、中部では外国から 282 人（男性 90 人、女性 192 人）が最も多く、次いで大阪府から 131 人（男性 73 人、女性 58 人）、西部では島根県から 910 人（男性 463 人、女性 447 人）が最も多く、次いで外国から 413 人（男性 190 人、女性 223 人）であった。

県外転出者については東部では大阪府へ 575 人（男性 266 人、女性 309 人）が最も多く、次いで兵庫県へ 573 人（男性 273 人、女性 300 人）、中部では大阪府へ 223 人（男性 105 人、女性 118 人）が最も多く、次いで外国へ 205 人（男性 77 人、女性 128 人）、西部では島根県へ 824 人（男性 434 人、女性 390 人）が最も多く、次いで大阪府へ 485 人（男性 233 人、女性 252 人）であった。（表 4、統計表第 9 表）

表 4 都道府県別(外国を含む)県外転入・転出者数(上位市町村)

(単位:人)

都道府県	転入					転出				
	総数	鳥取市	米子市	琴浦町	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
外国	1,293	517	227	149	400	836	306	121	92	317
島根県	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他
	1,205	665	190	154	196	1,256	590	305	130	231
大阪府	総数	鳥取市	米子市	境港市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
	907	341	256	63	247	1,283	503	337	118	325
兵庫県	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
	818	378	228	47	165	1,038	489	253	59	237
岡山県	総数	米子市	鳥取市	倉吉市	その他	総数	米子市	鳥取市	倉吉市	その他
	798	304	253	88	153	894	318	298	101	177
広島県	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他	総数	米子市	鳥取市	倉吉市	その他
	735	297	254	55	129	735	315	244	55	121
東京都	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他	総数	鳥取市	米子市	境港市	その他
	582	205	189	46	142	1,065	419	329	76	241

(4) 4市における年齢5歳階級別、男女別県外転入転出

県外転入者、県外転出者とも 20～24 歳が最も多い。

【鳥取市】

県外転入者は、20～24 歳の 733 人（男性 433 人、女性 300 人：県全体の県外転入者総数に占める割合 7.5%）が最も多く、次いで 25～29 歳の 481 人（男性 266 人、女性 215 人：同 4.9%）であった。

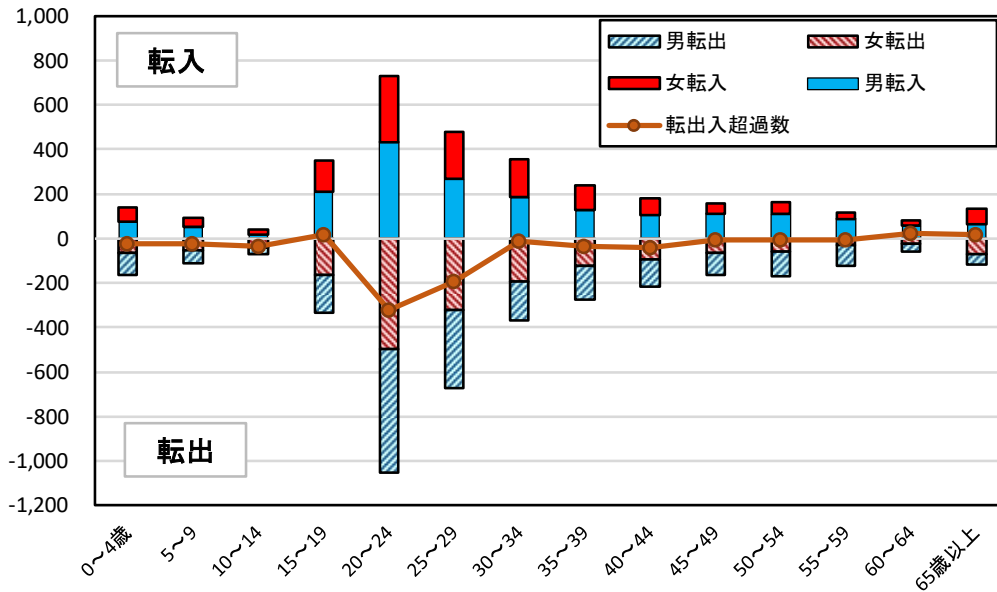
県外転出者は、20～24 歳の 1,052 人（男性 555 人、女性 497 人：県全体の県外転出者総数に占める割合 9.5%）が最も多く、次いで 25～29 歳の 675 人（男性 352 人、女性 323 人：同 6.1%）であった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数は、60～64 歳の 21 人（男性 23 人、女性-2 人）が最も多く、次いで 15～19 歳の 19 人（男性 42 人、女性-23 人）であった。

転出超過数は、20～24 歳の 319 人（男性 122 人、女性 197 人）が最も多く、次いで 25～29 歳の 194 人（男性 86 人、女性 108 人）であった。

(図 13-1、統計表第 10 表)

図13-1 年齢5歳階級別男女別県外転出入者数(鳥取市)



【米子市】

県外転入者は、20~24歳の708人(男性384人、女性324人：同7.2%)が最も多く、次いで25~29歳の605人(男性336人、女性269人：同6.2%)であった。

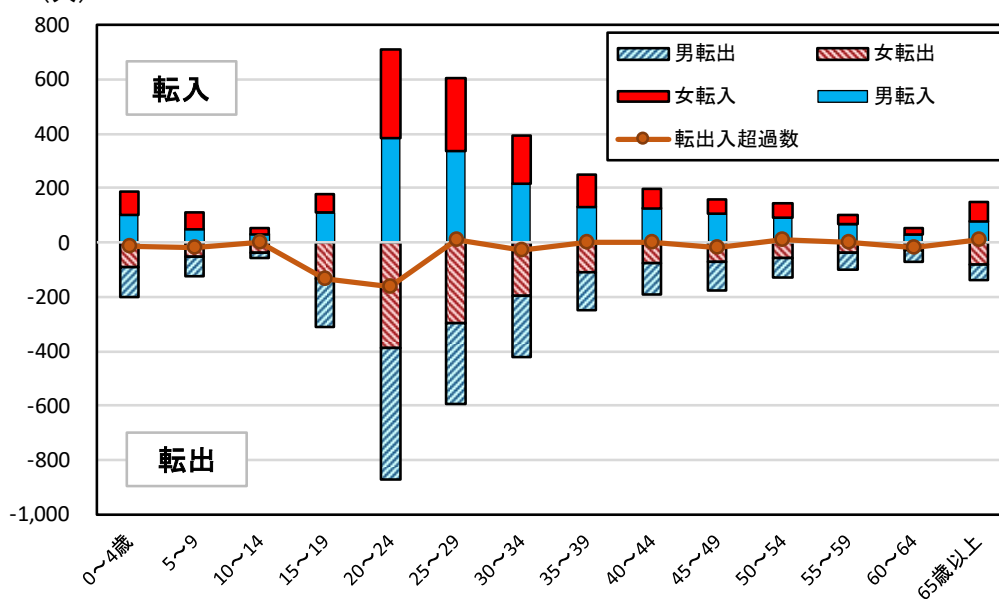
県外転出者は、20~24歳の873人(男性485人、女性388人：同7.9%)が最も多く、次いで25~29歳の593人(男性294人、女性299人：同5.3%)であった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数は、25~29歳及び50~54歳の12人(25~29歳：男性42人、女性-30人、50~54歳：男性15人、女性-3人)が最も多く、次いで65歳以上の11人(男性21人、女性-10人)であった。

転出超過数は、20~24歳の165人(男性101人、女性64人)が最も多く、次いで15~19歳の134人(男性67人、女性67人)であった。

(図13-2、統計表第10表)

図13-2 年齢5歳階級別男女別県外転出入者数(米子市)



【倉吉市】

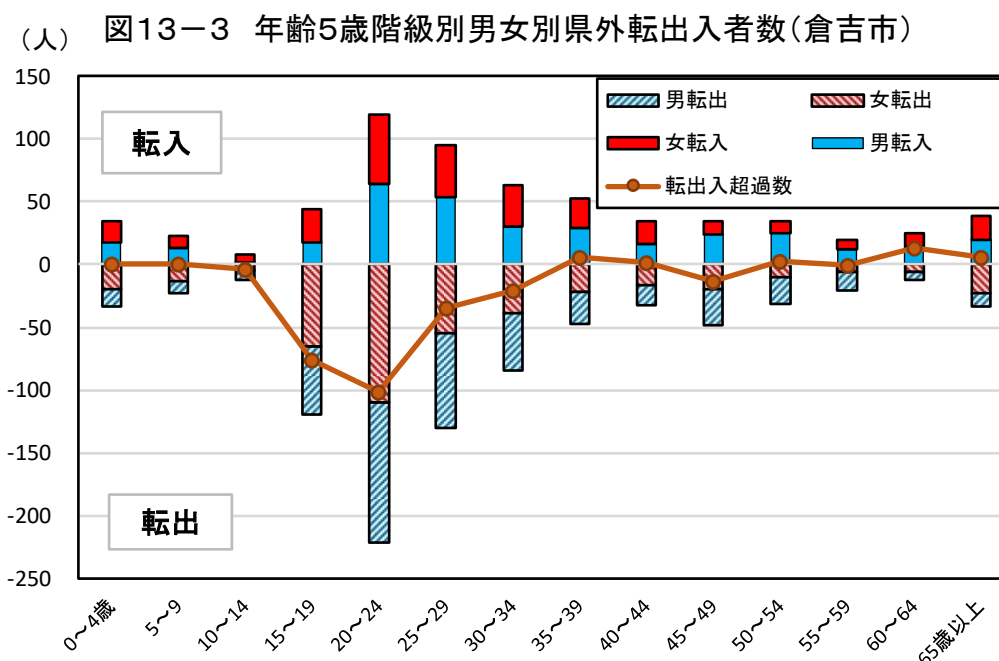
県外転入者は、20～24歳の120人（男性64人、女性56人：同1.2%）が最も多く、次いで25～29歳の95人（男性54人、女性41人：同1.0%）であった。

県外転出者は、20～24歳の222人（男性112人、女性110人：同2.0%）が最も多く、次いで25～29歳の130人（男性75人、女性55人：同1.2%）であった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数は、60～64歳の13人（男性8人、女性5人）が最も多く、次いで35～39歳及び65歳以上の6人（35～39歳：男性4人、女性2人、65歳以上：男性10人、女性-4人）であった。

転出超過数は、20～24歳の102人（男性48人、女性54人）が最も多く、次いで15～19歳の76人（男性37人、女性39人）であった。

（図13-3、統計表第10表）



【境港市】

県外転入者は、20～24歳の201人（男性102人、女99人：同2.1%）が最も多く、次いで25～29歳の177人（男性86人、女性91人：同1.8%）であった。

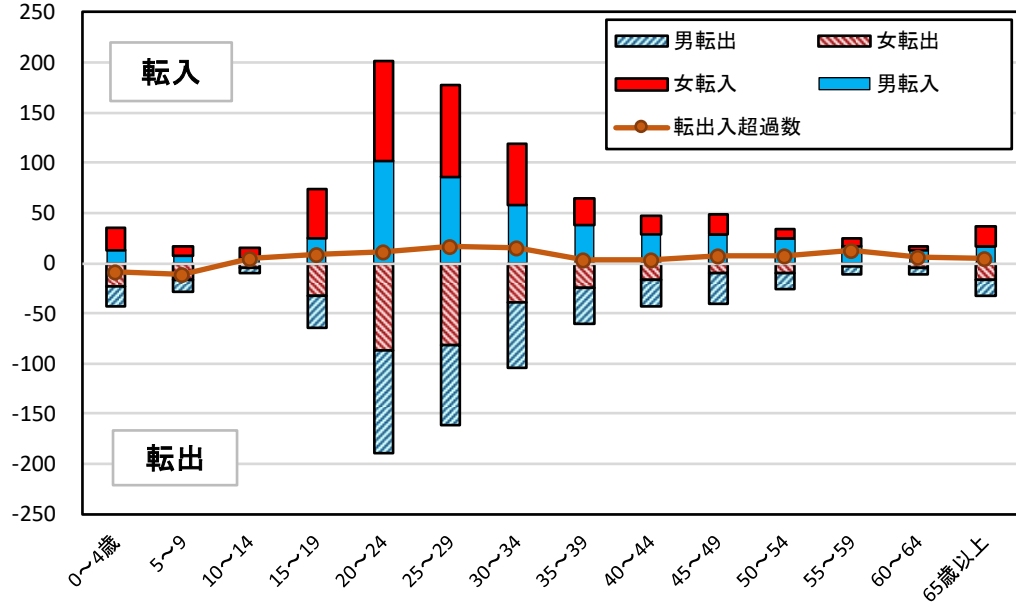
県外転出者は、20～24歳の189人（男性102人、女性87人：同1.7%）が最も多く、次いで25～29歳の161人（男性79人、女性82人：同1.4%）であった。

また、転入・転出超過数をみると、転入超過数では、25～29歳の16人（男性7人、女性9人）が最も多く、次いで30～34歳の15人（男性-7人、女性22人）であった。

転出超過数は、5～9歳の11人（男性4人、女性7人）が最も多く、次いで0～4歳の8人（男性7人、女性1人）であった。

（図13-4、統計表第10表）

(人) 圖13-4 年齡5歲階級別男女別省外轉出入者數(境港市)



<参考> 外国人の人口動態

1 自然動態

- ・出生数は16人（男性11人、女性5人）
- ・死亡数は14人（男性4人、女性10人）（表5）

表5 自然動態(外国人)

(単位:人)

月次	出生			死亡		
	総数	男	女	総数	男	女
総数	16	11	5	14	4	10
1月	1	1	0	1	1	0
2月	1	1	0	2	0	2
3月	2	2	0	3	1	2
4月	4	3	1	4	1	3
5月	2	2	0	0	0	0
6月	2	1	1	0	0	0
7月	1	0	1	0	0	0
8月	0	0	0	2	1	1
9月	0	0	0	0	0	0
10月	2	0	2	0	0	0
11月	0	0	0	1	0	1
12月	1	1	0	1	0	1

2 社会動態

(1) 県内移動

- ・県内移動者数は111人（男性41人、女性70人）
- ・転入が最も多いのは米子市の34人（男性16人、女性18人）
- ・転入超過数は、米子市の23人（男性9人、女性14人）が最も多く、転出超過数は、琴浦町の26人（女性26人）が最も多い。

(2) 県外転入・県外転出

- ・県外転入者数は1,910人（男性888人、女性1,022人）で、県外転出者数は1,295人（男性597人、女性698人）
- ・県外転入者数で最も多いのは、鳥取市の657人（男性349人、女性308人）で、次いで米子市の401人（男性206人、女性195人）
- ・県外転出者数で最も多いのは、鳥取市の465人（男性217人、女性248人）で、次いで米子市の268人（男性146人、女性122人）
- ・転入超過数は、鳥取市の192人（男性132人、女性60人）が最も多く、転出超過数は、八頭町の17人（男性1人、女性16人）が最も多い。（表6）

表6 市町村別社会動態(外国人)

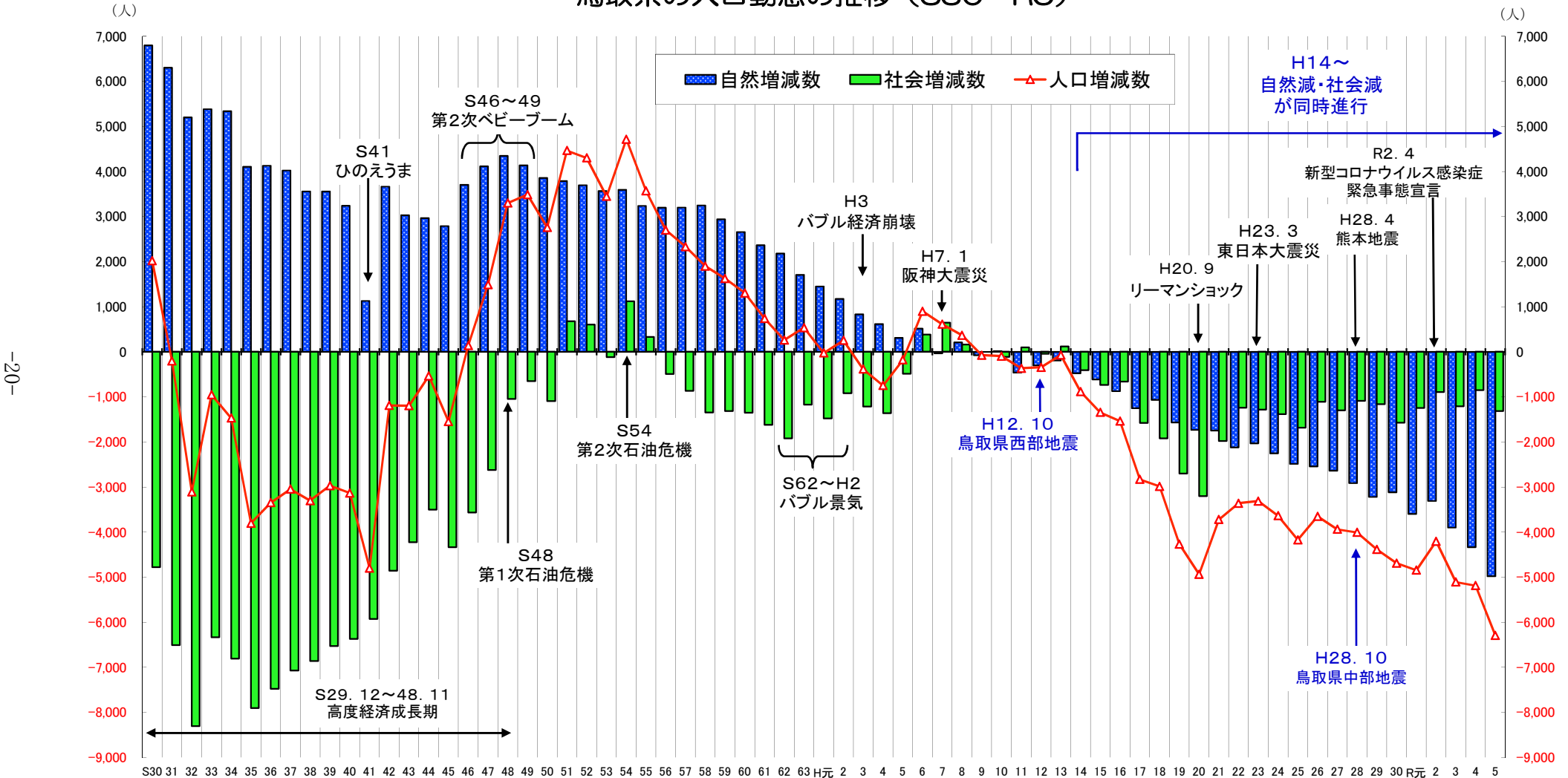
(単位:人)

	県外							県内							社会増減数
	転入者数			転出者数			転入超過数	転入者数			転出者数			転入超過数	
	総数	男	女	総数	男	女		総数	男	女	総数	男	女		
県計	1,910	888	1,022	1,295	597	698	615	111	41	70	111	41	70	0	615
東部地区	754	379	375	546	245	301	208	29	9	20	34	17	17	-5	203
中部地区	357	141	216	274	108	166	83	38	11	27	43	7	36	-5	78
西部地区	799	368	431	475	244	231	324	44	21	23	34	17	17	10	334
鳥取市	657	349	308	465	217	248	192	20	5	15	28	16	12	-8	184
米子市	401	206	195	268	146	122	133	34	16	18	11	7	4	23	156
倉吉市	71	36	35	77	42	35	-6	23	8	15	8	3	5	15	9
境港市	226	69	157	101	37	64	125	7	3	4	12	4	8	-5	120
岩美町	49	14	35	21	7	14	28	3	3	0	1	0	1	2	30
若桜町	6	3	3	6	0	6	0	3	0	3	3	0	3	0	0
智頭町	33	7	26	28	14	14	5	2	1	1	0	0	0	2	7
八頭町	9	6	3	26	7	19	-17	1	0	1	2	1	1	-1	-18
三朝町	39	27	12	23	9	14	16	2	0	2	1	0	1	1	17
湯梨浜町	33	12	21	30	9	21	3	6	0	6	3	1	2	3	6
琴浦町	186	56	130	113	41	72	73	3	2	1	29	2	27	-26	47
北栄町	28	10	18	31	7	24	-3	4	1	3	2	1	1	2	-1
日吉津村	4	3	1	5	3	2	-1	0	0	0	0	0	0	0	-1
大山町	94	42	52	55	20	35	39	1	0	1	8	5	3	-7	32
南部町	47	29	18	28	23	5	19	2	2	0	0	0	0	2	21
伯耆町	9	8	1	7	6	1	2	0	0	0	3	1	2	-3	-1
日南町	9	9		6	6	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3
日野町	4	2	2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	2
江府町	5		5	3	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2

注1) 転入超過数とは、転入者数から転出者数を差し引いた数。転入超過数がマイナス(-)の場合は、転出超過を示す。

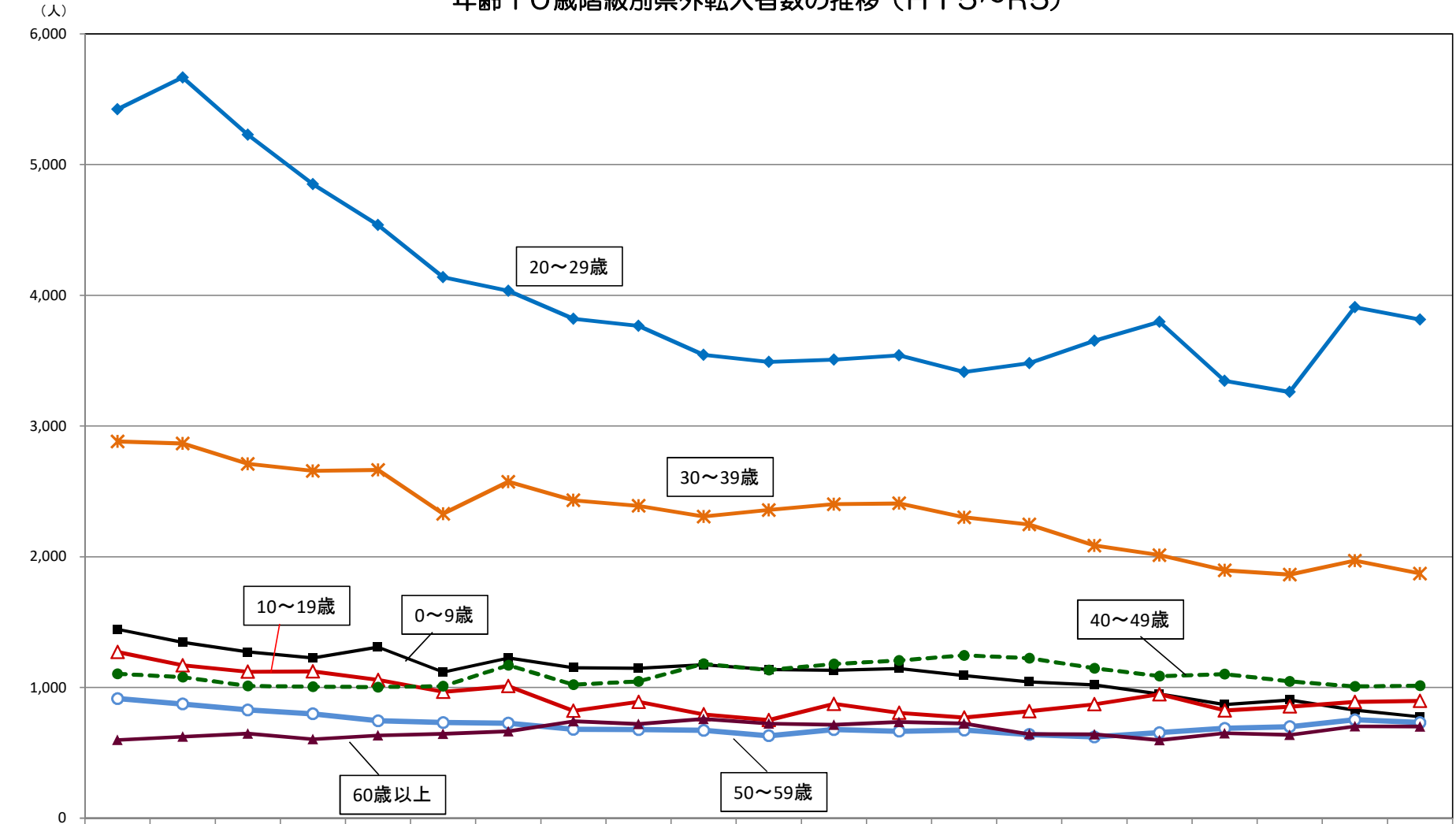
注2) 地域別の県内転入者数及び県内転出者数の数値については、地域内市町村間の移動者を含む。

鳥取県の人口動態の推移 (S30~R5)



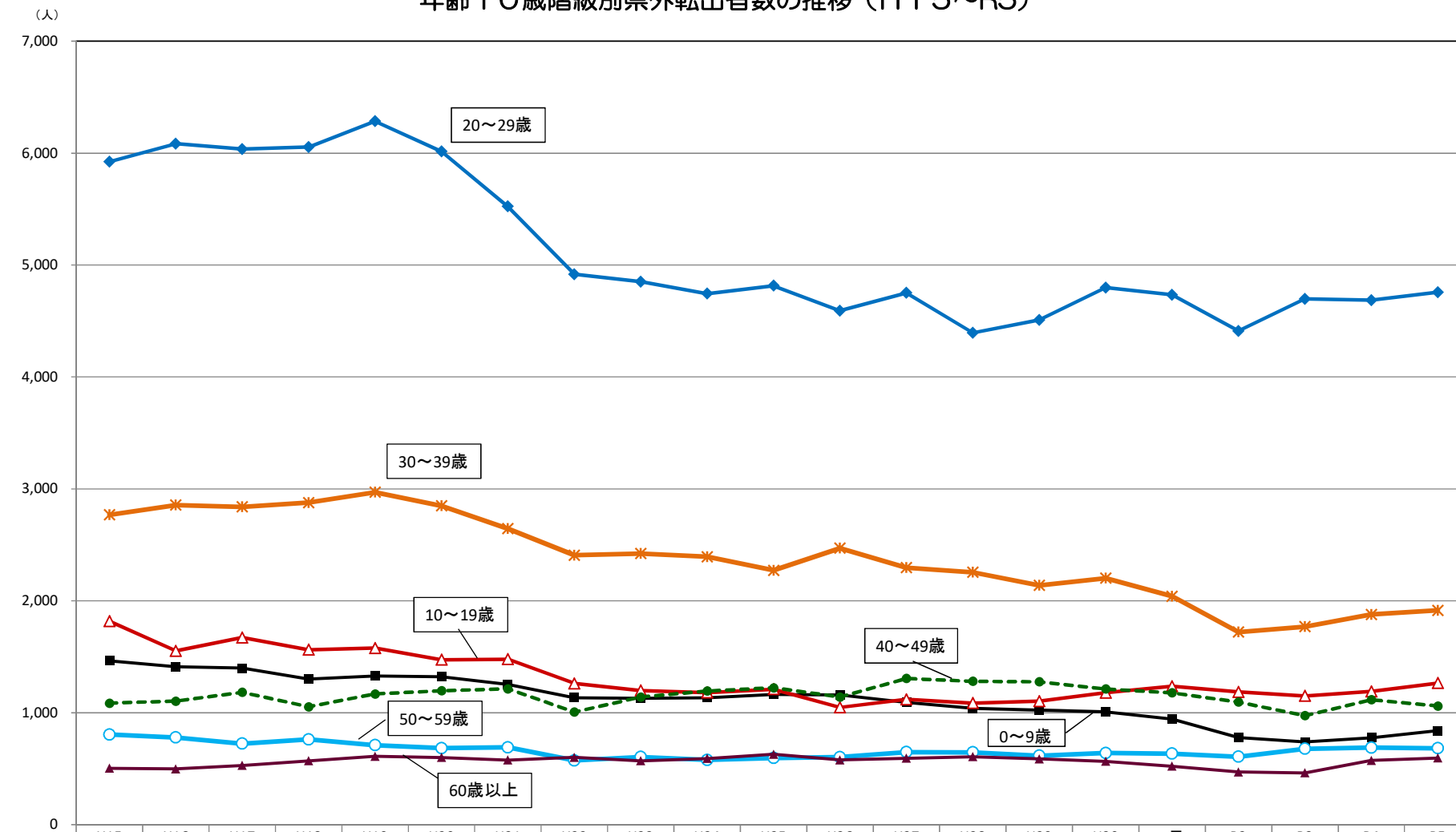
注) グラフは、暦年 (1月~12月) の値

年齢10歳階級別県外転入者数の推移（H15～R5）



	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
0～9歳	1,444	1,346	1,271	1,225	1,308	1,118	1,226	1,150	1,146	1,174	1,136	1,131	1,144	1,091	1,042	1,020	949	868	903	826	775
10～19歳	1,271	1,169	1,120	1,123	1,058	967	1,010	821	890	794	750	874	806	770	818	871	947	824	854	890	897
20～29歳	5,423	5,667	5,228	4,851	4,537	4,139	4,034	3,820	3,767	3,544	3,491	3,507	3,541	3,413	3,480	3,652	3,797	3,346	3,260	3,908	3,814
30～39歳	2,881	2,867	2,710	2,656	2,664	2,329	2,574	2,432	2,389	2,307	2,358	2,402	2,409	2,302	2,247	2,085	2,012	1,897	1,863	1,970	1,871
40～49歳	1,104	1,079	1,012	1,006	1,003	1,009	1,169	1,021	1,046	1,181	1,134	1,179	1,206	1,246	1,224	1,146	1,087	1,103	1,046	1,008	1,013
50～59歳	915	873	828	798	745	731	727	679	677	672	630	678	665	674	640	622	654	687	700	753	732
60歳以上	598	624	647	605	634	645	665	742	720	759	725	714	736	725	643	641	597	650	637	703	701

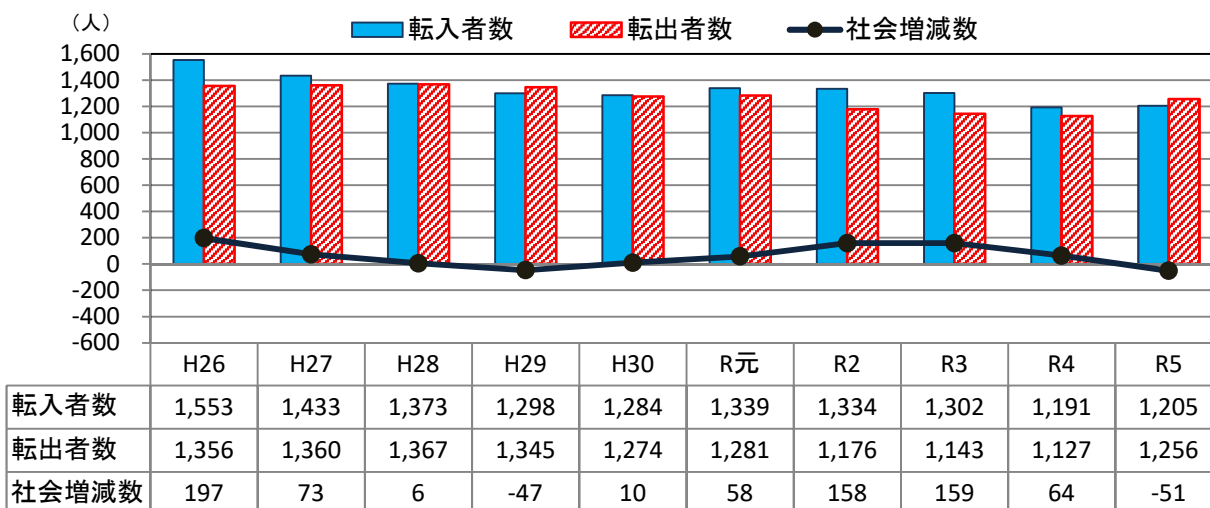
年齢10歳階級別県外転出者数の推移（H15～R5）



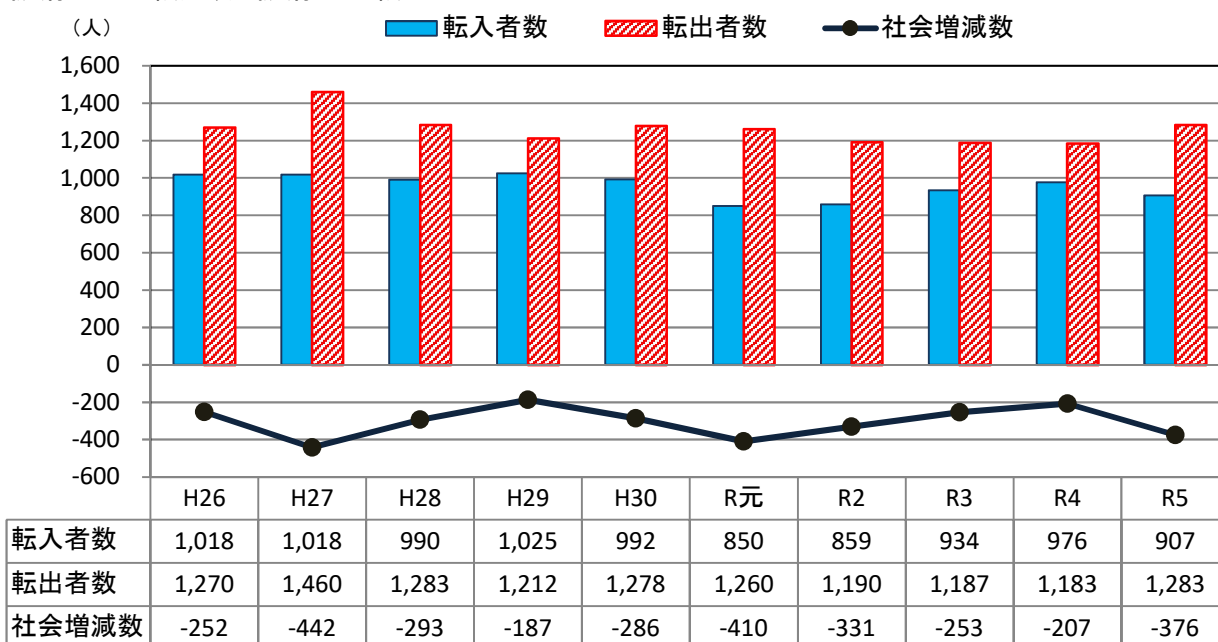
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
0～9歳	1,464	1,412	1,399	1,302	1,330	1,321	1,253	1,134	1,129	1,134	1,165	1,160	1,092	1,041	1,025	1,008	944	779	739	777	840
10～19歳	1,818	1,553	1,672	1,563	1,578	1,474	1,478	1,262	1,199	1,180	1,210	1,048	1,120	1,087	1,104	1,179	1,237	1,186	1,150	1,191	1,266
20～29歳	5,923	6,083	6,036	6,054	6,284	6,015	5,523	4,917	4,851	4,744	4,815	4,592	4,751	4,394	4,509	4,798	4,734	4,410	4,697	4,686	4,756
30～39歳	2,769	2,856	2,840	2,878	2,970	2,849	2,645	2,408	2,423	2,394	2,272	2,471	2,296	2,255	2,139	2,203	2,041	1,721	1,769	1,878	1,915
40～49歳	1,085	1,104	1,183	1,053	1,168	1,196	1,214	1,007	1,140	1,194	1,223	1,140	1,306	1,281	1,277	1,213	1,178	1,095	974	1,116	1,060
50～59歳	806	779	725	762	710	684	691	574	605	579	596	604	649	646	616	641	635	607	679	689	683
60歳以上	504	499	530	571	611	601	578	602	571	591	629	579	593	608	588	567	522	471	463	574	596

県外転出入者数の推移（令和5年移動者総数上位6都道府県）

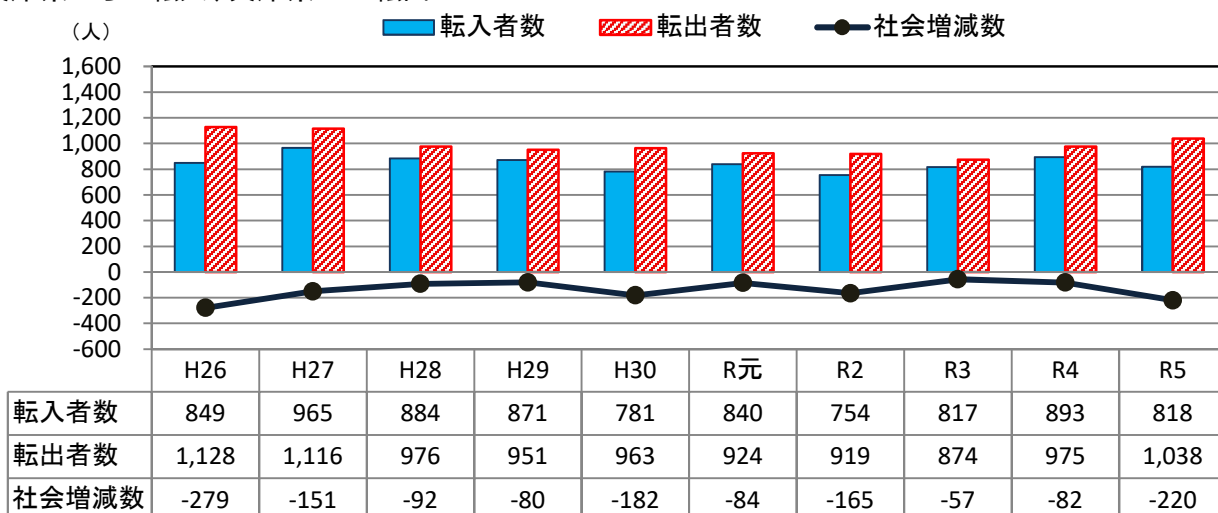
島根県からの転入、島根県への転出



大阪府からの転入、大阪府への転出

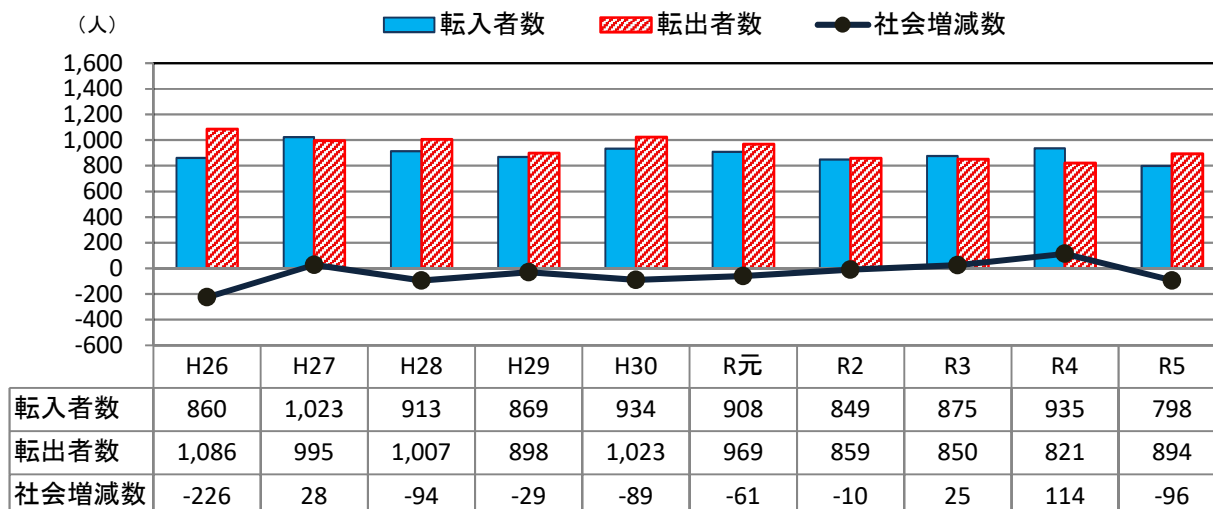


兵庫県からの転入、兵庫県への転出

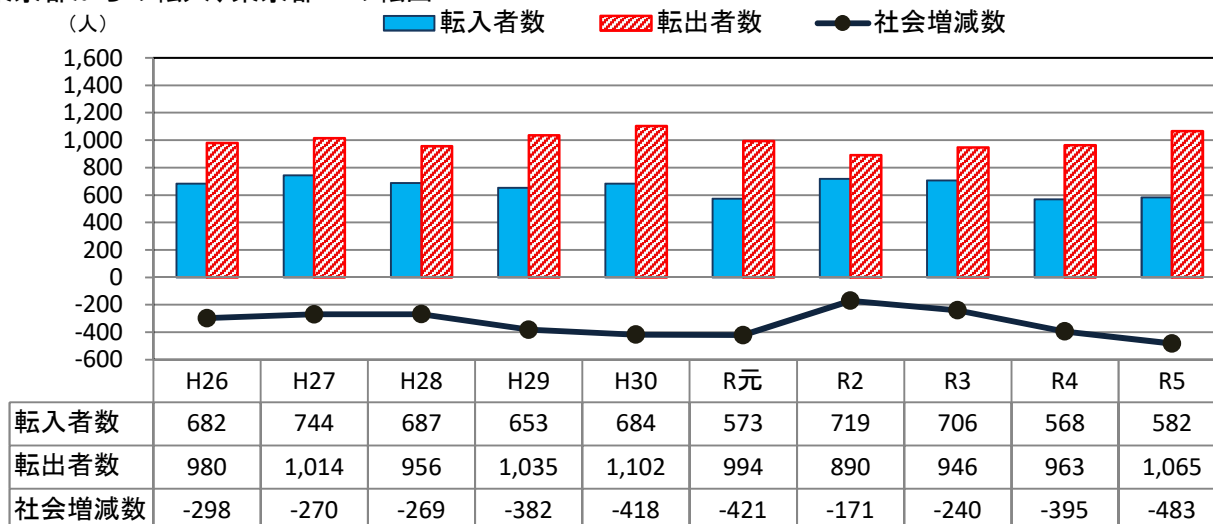


注) 移動者総数＝転入者数＋転出者数

岡山県からの転入、岡山県への転出



東京都からの転入、東京都への転出



広島県からの転入、広島県への転出

